

2022 年 8 月 8 日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

住友商事株式会社

チリ共和国 Quebrada Blanca (ケブラダ・ブランカ)銅鉱山開発プロジェクトの
建設費見直しについて

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：野崎 明）および住友商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員 CEO：兵頭 誠之）は、チリ共和国で推進しているケブラダ・ブランカ銅鉱山開発プロジェクト（以下「QB2 プロジェクト」）において、投資計画の前提となる建設費を、当初予定の約 47 億米ドル（物価調整込み約 52 億米ドル）から、約 75 億米ドル（物価調整および将来の建設費増加リスク込み、基準為替 775 チリペソ/米ドル）に見直すこととなりました。

本見直しは、パートナーであるカナダの資源メジャー企業テック・リソーシズ社（Teck Resources Limited、本社：カナダ ブリティッシュ・コロンビア州バンクーバー市）が、2022 年 7 月 26 日の 2022 年第 2 四半期決算発表において、今後の為替見通しなどを元に、QB2 プロジェクトの建設費予想を約 69 億米ドル～70 億米ドルに引き上げたことなどを受け実施したものです。

QB2 プロジェクトは、2019 年に着工しましたが、その後の世界的な新型コロナウイルス蔓延に伴い必要となった感染対策費用、および建設作業員の感染隔離や建設効率の低下などに由来した建設期間長期化の影響により、開発投資額が増加する見込みとなりました。

一方で、これまでの探鉱活動に基づく資源量評価の見直しにより、ケブラダ・ブランカ銅鉱山の資源量（銅金属量）は、参入した 2019 年当時から約 6 百万トン増加し、将来の鉱山ポテンシャルが大きく向上しました。

QB2 プロジェクトは建設の終盤を迎え、徐々に操業チームへの完成設備引き渡しに注力しており、引き続き万全のコロナ対策を講じながら、2022 年内の生産開始を目標に建設を進めていきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

住友金属鉱山株式会社	広報 IR 部	03-3436-7705
住友商事株式会社	広報部報道チーム	岩田 (070-8806-9586)
		浅田 (080-6684-9990)

以上

Quebrada Blanca 銅鉱山概要



- ・ 位置：チリ共和国タラパカ州 チリ北部（サンチャゴ市から1,500km、イキケ市の南東240km 標高4,400m）
- ・ 採掘方法：露天掘り
- ・ 選鉱操業：浮遊選鉱により銅およびモリブデン精鉱を産出
- ・ 可採鉱量：銅 約7百万トン
- ・ 資源量：銅 約24百万トン ※参入時銅量 約18百万トン
- ・ マインライフ：約28年（可採鉱量分のみ）
- ・ 平均年間生産量（含有金属量）：銅 24 万トン、その他モリブデン、銀
- ・ QB2 プロジェクト施設配置図：
左から積出港と海水脱塩設備、送電線（紫色の線）、パイプライン（水色は淡水、オレンジは銅精鉱）、QB 銅鉱山設備（Mill：選鉱場、TMF：尾鉱ダム、Mine：採掘ピット）

